

陳情 第31号

受付 平成29年 2月20日

付託 平成29年 3月 1日

市民会館舞台そで改修に関わる陳情（バリアフリー取手 文化）

・陳情趣旨

現在進行中の市民会館改修工事は、玄関ホール・階段部分・トイレ・空調設備のみであり、舞台周辺は後日となっています。

高齢化率32%を超えた我が取手市、バリアフリー化推進は急がれます。

市民会館で行われる文化芸術活動の参加者も、高齢化の一途をたどっています。

現在市民会館舞台出入りには、ほとんどの方が南側のそでを使っています。

そでの出入りには、急な階段があるだけです。

大型又大重量の楽器（コントラバス・チューバ・ティンパニー・和太鼓等）を初め、琴等長尺物やデリケートな楽器の数々の搬出入に関わる困難が顕著となっています。

市内音楽や舞踊グループメンバーの高齢化（伝統あるグループは、平均年齢70歳超が半数以上。）が目立つ現況です。

出演者は加齢とともに足腰が弱くなり、舞台そでの階段の昇降に難儀する事態で危険な状態が続いています。

この状態を緩和することが、急務と考えます。

・陳情事項

①市民会館舞台そで南側入口を、大型楽器等が出入りしやすい大きさに拡大すること。

②出演者及び楽器等が円滑に出入りできるように、舞台そで出入り口になだらかなスロープを設置すること。

以上、陳情いたします。

平成29年2月20日

陳情者

住所 取手市宮和田 985-19

氏名 斉藤たかし

取手市議会議長 殿